

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	良く なっている  やや良く なっている	-	-	-
		商店街（代表者）	お客様の様子	・買い控えの客は多いが、一部が高額商品を購入するようになっている。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・今月は観光客数が増加し、景気が多少良くなったが、例年よりは悪い。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・年末に競合店の食品スーパーが閉店して来客数が増加している。日配品や牛乳、豆腐、パンなど、日々必要な商品を中心に前年より2けた以上の伸びがある。
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・ゴールデンウィークが長期連休だったことで来客数が減少したエリアがある。また週末には天候不順で来客数が伸び悩むが、ライセンス商品のたばこや酒が好調で客単価が上昇している。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数が前年より増加している。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・エアコンが前年よりも早く動き出している。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・来客数はやや減っているものの、販売量が増えているので景気は良くなっている。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークに大きなイベントを行ったので、多くの来場者があり客単価も高くなっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・3月末から岡山香港便が就航したので、香港からの来客数が増加したことにより、来客数が上向き傾向である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が増加している。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・足元の大型イベントなどの開催や訪日ブームの継続により、県外や国外からの客が増加しており、周辺に経済効果をもたらしている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子がやや良くなっている。
	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・連休中は天候が良かったため来場者数が多く、連休以降も週末を中心に比較的多くの来場者数がある状況である。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の通行者数は現状維持か少し減少気味であり、それに伴って来店者数が減っている。
		商店街（理事）	来客数の動き	・5月はそれなりの売上であるが、来客数が分散傾向となっている。ゴールデンウィークが長期間だったため、その後は例年どおり客の消費意欲が落ち、熊本地震の影響もあって不安が募っている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・個人の印鑑注文はあるが、法人関係のゴム印や名刺の注文が少ない。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	競争相手の様子	・今まで割引販売や客の呼び込みなどを行っていなかった店で、今年はそうした動きが目立ち始めている。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・地元経済は相変わらず厳しく、海外の売上でなんとかカバーしている。イベントを催しても商店街の活性化にはつながらず、商店数は減るばかりである。海外の展示会に参加してきたが、日本企業の参加が増えている。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	単価の動き	・客の買物動向に変化が見られない。
百貨店（経理担当）		販売量の動き	・5月の売上は前年比で4%程度下回る見込みである。化粧品やヤング婦人服、呉服は好調であるが、ミセス婦人服と婦人服飾は不調で、その他はおおむね前年並みである。	
百貨店（営業担当）		販売量の動き	・衣料品の売上不振がより顕著となってきている。熊本地震に加え、地元に関連会社の多い大手自動車メーカーの燃費不正問題もあり、消費ムードに水を差す形となっている。	
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客は割引やポイントアップ付与日に集中して購入する傾向が高くなっており、欲しい商品は最安値で購入する客が増えている。		

百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・夏商戦が本格化してきたが、衣料品の動きは低迷している。前年のプレミアム付商品券利用の反動も一因ではあるが、客単価が低下してきている。美術品や宝飾品等の高額品の動きは堅調であるが、中間所得層の動きが回復しなければ、景気の高揚感は感じられない。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・5月は母の日までの日程が短く、ゴールデンウィークと重なったことから売上は前年実績をやや下回った。食品は好調に推移しているが衣料品が振るわず、UV関連も伸び悩んでいる。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク期間中は北海道物産展を行ったが、かなりの来客数で売上も良かった。しかし熊本地震の影響もあり、今は高額商品を買う時期ではないとの客の声もあり、衣料品の買い控えがあった。客は食品などの生活必需品は購入するが、高額品やぜいたく品の購入は控えている。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・200万円以上の絵画や陶芸は売れているが、貴金属は売れず安閑としてはられない。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価は横ばいで推移しているが、前年に比べて来客数と客単価はやや悪い。
スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・売上、販売点数共に前年を上回っているものの、来客数が前年並みである。
スーパー（管理担当）	単価の動き	・客単価に若干の伸びがあるものの、来客数の減少で売上は現状維持の状況である。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客の財布のひもは固く、割引の日にまとめ買いをする客が増えている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数はやや減少傾向であるが、客単価は上昇傾向である。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・例年と何も変わらないが、夏物の動きが心配である。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・平日の来客数は前年より増加しているが、土日は減少している。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・例年と比べて大きな変化はない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・客は先行きの不安から必要な物以外は購入していない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	お客様の様子	・長期催事効果で来客数は増加したものの、売上には催事によるシャワー効果が思ったほど見られていない。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・個人利用はそれなりにあるが、法人利用に関してはそうでもなく、特に平日が厳しい。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク後の来客数の減少は例年どおりである。ただ今年は客単価とファミリー客の組単価の低下が顕著である。
観光型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・先月、先々月と販売量が増加傾向であったが、今月はその状況を維持している。
都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク前半までは宿泊客数が順調に推移したものの、後半は大幅に落ち込んでいる。中旬以降は学会関係者による先行予約があったものの、実際の伸びに勢いがなく予断を許さない状況である。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・景気回復に良い材料がなく、特に当県は燃費不正問題を抱える大手自動車メーカー関連の仕事が大変な時期であり、うかうかしてられない。
タクシー運転手	販売量の動き	・売上は前年度よりプラスとなっているが、それは値上げ分であり、実質は少ししか増加していない。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新年度になって以降、モバイル、ネットサービス共に利用者側の動きに変化がない。
通信会社（販売企画担当）	お客様の様子	・来客数が増えていない。
通信会社（総務担当）	競争相手の様子	・県内で話題になるような経済活性化の動きはない。
美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は一昨年や前年よりも減少しているので、売上も低下している。
設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・客の来場数の伸びが不十分である。さらに関連する建築業界では不動産を購入して需要を喚起しようとしているが、伸びが今一つである。

	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・無策な経済政策により、ゆっくりではあるが景気は確実に低下してきている。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・熊本地震の影響で木造住宅に住んでいる客が耐震診断や補強工事に動くと予想していたが、さほど動きが見られない。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・戸建住宅の引き合いが低調な状況が続いている。住宅ローン金利は過去最低にもかかわらず、景気が不安定な状況から建築する機運が高まっていない。
	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・3か月前と比べて来場者の動きがあり、消費税率引上げ前に持ち家を検討している客が見受けられる。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・売上単価は上昇せず、追加の注文が少ない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は安くても購入せずデフレが進行している。売上が低迷して前年を割っており、危機的状況が続いている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客が非常に慎重で価格に厳しくなり、必要な商品しか購入しない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・アメリカ大統領の当地域への来訪があったため、商店街の通行量は多くなっているが、各店への来客数が大変少なく、客の購買意欲は感じられない。
	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・高齢者の来客数が減少している。
	百貨店（営業推進担当）	販売量の動き	・熊本地震の心理的な影響で衣料品の動きが悪い。
	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・来客数は前年に比べ増加傾向にあるが、買上客数は減少している。客がよく吟味して購入している状況がうかがえ、特に婦人服の落ち込みが大きい。
	百貨店（人事担当）	来客数の動き	・休日の並びや近隣施設のイベント中止などでゴールデンウィーク期間中の来客数が例年よりも減少するとともに、大手自動車メーカーの燃費不正問題が客のマインドを低下させる要因となっている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価が低下してきている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・3か月前は来客数が前年の102%、売上は104～105%で推移していたが、4月から来客数が前年の99.5%に減少している。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数は微増であるが買上点数が減少傾向にあり、支出を抑えようとする客の動きが見られる。
	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク期間中に限れば、例年より来客数が多く、売上も悪くなかったが、客からは旅行を取り止めて近場で過ごしているとの話が聞く。逆にゴールデンウィーク後の来客数は例年以上に減少傾向にある。
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・1品単価と買上点数の上昇により、既存店の売上は前年を上回る状況が続いているが、来客数が前年を下回っている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年に比べて気温上昇が緩いため、来客数が減少しており、今月の売上は前年をクリアできない。
	家電量販店（店長）	お客様の様子	・賞与の時期に入るが、客からそんな雰囲気を感じないほど景気が悪い。
	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・来客数の減少が大きくなっており、新車、中古車共に販売台数が全く伸びない。整備部門も良くはないが、前年微減でやっと凌いでいる状況にある。
	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・販売量は4月より多少良くなっているが、5月は稼働が少なく、熊本地震の影響で前年の75%である。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・景気が良いのか悪いのかはっきりしない。原因は不明であるが、少しずつ売上が低下してきている。
	その他専門店〔海産物〕（経営者）	単価の動き	・連休の来客数は前年よりも悪く、購買単価も良くない。
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・インバウンド客は依然好調であるが、一般常連客の来店頻度が下がってきている。
一般レストラン（外食事業担当）	お客様の様子	・支払金額が前もって分かる食べ放題メニューの売上が、ゴールデンウィーク後から急激に伸び、前年を大きく上回るとともに、構成比も前年比で2けたの伸びがある。ただし客が外食に費やす金額全体には厳しさがみられ、食べ放題メニューのない土日には売上の前年割れが続き、ファミリー客の減少もみられる。また21時以降の来客数の減少が際立っている。	

		スナック（経営者）	来客数の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題で当地域の工場の操業が停止しており、景気が良くなる要素が少ない。
		観光型ホテル（宿泊担当）	単価の動き	・客は料金が少しでも安い方に流れる傾向にある。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・ホテル内レストランで客に提供する料理単価が上昇しないにもかかわらず、食材等は値上がりしている。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊単価は上昇しているものの、宿泊客数が若干減少傾向となっている。また企業宴席やレストラン利用頻度も低下している。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・6月以降から夏までの旅行需要において先行状況が悪く、特に海外旅行については引き続き低調である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜の動きがかなり悪く、飲みに出る人がかなり減少し、ゴールデンウィーク明けが特にひどい状況となっている。
		通信会社（広報担当）	販売量の動き	・新商品を出しても販売数の動きはあまりない。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・新規契約数が3か月前に比べて減少している。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・天候が比較的良好にもかかわらず、前年よりも少しずつ来園者数が減少している。
		テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者数、商品販売高等が減少傾向にある。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・2月にG1競争の開催があり、広域発売の売上が良くなっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・例年であれば暖かくなって来客数が増え、回転が良くなる時期であるが、今月は動きが鈍い。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間を含め、住宅展示場やイベントへの来場者数が目に見えて減ってきている。
	悪くなっている	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響で、5月の販売状況は前年の60%と大変厳しい状況である。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・販売量は前年同月の約70%である。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・当地域では連休にイベントがないので客足は伸びず、連休が終わっても同様で、客の財布のひもは固い。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	来客数の動き	・高速道路の交通量が減少しており、来客数が少ない。
		ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・5月に入って来場者の予約が伸び悩んでいる。九州からの来客数が落ち込み、集客に影響が出ている。
企業動向関連 (中国)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が順調である。
	やや良くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・熊本地震関連の救援物資の動きがある。母の日のギフトの受注が前年をかなり上まわり、6月の父の日ギフトも順調に推移している。個人消費の部門ではギフト関連の受注が好調で、電子商取引も引き続き順調に伸びている。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・流通業の客からモノのインターネット関連技術を用いた現場改善に関する引き合いが増えつつあり、新たな設備投資の可能性が発生している。
変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売方法と製造方法を変更したことが功を奏し、例年より製品の動きが良い。	
	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・個人消費の上昇が実感できず、為替や株価にも不透明感が増している。	
	化学工業（総務担当）	それ以外	・国内の景気に変化は見られないが、その一方で原料価格や為替などの影響で企業の業績が左右されている。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・5月の生産量は連休対策の反動で落ち込むが、建設案件の製造途中であり多忙感に変化はない。	
	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・海外市況の好転を受けて輸入鋼材の値上げ依頼の動きがあるが、各社とも荷動きが低調でタイト感がないため、市況上昇のムードはまだない。	
	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・産業用金属原料、パネル用原料、IT用原料の出荷量は横ばいである。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・5月の受注見込みは月初めに想定した80%程度にとどまり、厳しい状況である。	

	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は前年同月と大きな変化はない。商談件数は若干増加しているものの、成約率には前年比で変動がない。	
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注量や販売量の動き	・現在の受注環境は決して良い状況ではないが、1～2年前に受注した足元の仕事量は変わらず推移している。	
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量についてはほぼ年度計画通りである。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の発生で先行きが不透明である。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・予定物件が順調に受注でき、来年春まで施工担当者は空きがない状況である。	
	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・前月は荷動きが堅調でこのまま推移する見込みだったが、休みの関係もあって今月は低調である。来月以降のオーダーも少なめで悪くなりつつある。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信機器サービス関連の販売実績の伸び率に変化はない。	
	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・年度末の売上状況を確認しても前年並みの水準であり、改善が顕著になっているとは言えない。また4月以降も売上が大きく伸びているとの話はないため景気は変わらない。	
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・自動車部品メーカーの受注は高水準が続き、操業は残業1～2時間に加え、月に2回程度の土曜出勤で対応している。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の動きは極端な増減がなく推移している。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・毎年5月は連休で金を使うため、月後半になると飲食業の売上は低下するが、その傾向は今年も変わらない。しかし客単価が例年以上に低く、製造業も大手が設備計画や生産計画に慎重になっているためか、今一つバツとしない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売単価の低下が止まらない状況で、客の節約傾向は強い。	
	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・長引く中国経済の停滞感、新興国の成長鈍化等の影響で輸出型製造業の業績が悪化している。特に化学関連の基礎原料のダブつきにより、販売単価が引き下げ基調にある。	
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・この冬に策定した予算の10%に満たない受注金額であり、今後も横ばいの見込みである。	
	その他製造業 [スポーツ用品]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円高に振れていた為替がまた円安にジワジワ動いており、為替差損の影響が大きい。また国内景気の低迷で在庫が過多となっており、その調整のため受注量が少ない。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来店数と成約件数が減少している。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・4月と1月を比較すると、水揚げ数量は704tの減少、水揚げ金額は1億700万円の大規模減少である。減少理由は大中小型巻き網漁の減少である。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
(中国)	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・新卒採用、中途採用共に求人数の増加傾向が続いている。新卒では選考開始時期の2か月前倒しの影響が続いており、5月中旬現在で一次面接を経験した学生は71.7%、役員面接、最終面接29.3%、内定獲得25.7%と、いずれも前年同時期に比べて増加している。新卒採用に苦戦している企業が即戦力の中途採用を併用している。特に資格保持者や会社経験のある30代前半までの中途採用のニーズが高い。
		新聞社 [求人広告]（担当者）	雇用形態の様子	・ベースアップが話題になっているのに知らぬふりができないという理由から、正社員11人、パート約30人という地元菓子メーカーが賃上げに踏み切った。景気は思ったほど良くなれないと言いつつも世間の動きが無視できない様子である。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・求人数、求職者数共に前年に比べ増えているが、時給単価は2年ほど前から変わらない。今後料金交渉をするなかで派遣スタッフの賃金アップや処遇改善を企業に求めたい。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・企業の採用意欲は変わらず高い状況である。平成30年卒採用に向けた打ち合わせも一部スタートしており、投資意欲も変わらない。	

	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・産業別新規求人数が前年同月比で大きく変化したように見えても、3か月平均で見るとそれほど大きな変化ではない。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・新規求職者数が3か月前と比べて22%増加しているが、年度初めに伴う増加であり、前年と比較すれば減少傾向で、大きな動きはない。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・最近6か月の管内の雇用情勢を前年比でみると、新規求職者数、有効求職者数共に減少し、新規求人数、有効求人数共に増加している。4月単月では新規求職者数は減少、有効求職者数は増加し、求職者の滞留が見られる。月間有効求人倍率は1.39倍であるが、正社員の有効求人倍率は0.82倍となっている。
	民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・採用意欲はあるものの、正社員採用をちゅうちょし紹介予定派遣や契約社員採用などの非正規雇用を打診するケースが増えている。管理職採用の場合でも正社員採用でない場合がある。
	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・あまり良くはないが、それほど悪いとも言えない状況である。
やや悪くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題による影響はほとんど発生していないものの、受注求人数は前年より10%以上減少している。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求人数の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響が徐々に始めている。今後長期化することでの各サプライヤーへの影響は計り知れない。現段階では大きな影響は見られないが、今後の動きに注視している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・地元主力工場を持つ大手自動車メーカーの燃費不正問題に伴い、生産が1か月以上ストップした状態となっている。工場の従業員のみならず、関連する協力企業群も大きな影響を受けており、官民挙げて対策を協議しているが、先行きは不透明である。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は温泉旅館スタッフの増員や新規オープンのレストランスタッフ募集があった宿泊飲食サービス業が前年同月比で3割増、人手不足の続く医療福祉で2割増となったほかは低調に推移したため、求人全体では横ばいとなっている。
	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・企業側は前年度に採用し切れなかった人数を補おうと採用意欲はおう盛に見えるが、インターンシップなどの採用に直結しないことへの積極性はあまり感じられない。
悪くなっている	-	-	-